

議会だより

題字：當間伊吹（喜名小学校5年生）

議員一般質問（17名）…………… 4

48号

2011年12月定例議会



2012年(平成24年2月発行)

第403回 臨時議会

議案番号	件名	結果
議案第42号	読谷村一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決

第404回 定例会

議案第43号	平成23年度読谷村一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第44号	平成23年度読谷村診療所特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第45号	平成23年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第46号	読谷村議会政務調査費の交付に関する条例	原案可決

賛 成

知 花 徳 栄 ・ 仲宗根 盛 良
 伊 波 篤 ・ 當 山 勝 吉
 大 城 行 治 ・ 當 間 良 史
 上 地 利枝子 ・ 嘉手苺 林 春
 城 間 勇 ・ 津波古 菊 江
 山 内 政 徳 ・ 長 浜 宗 則
 照 屋 清 秀 ・ 上 地 栄
 伊 佐 眞 武

反 対

比 嘉 郁 也
 山 城 正 輝

退 席

国 吉 雅 和

議案第47号	平成23年度 村道中央残波線整備工事請負契約変更について	可 決
陳情第5号	陳情書	採 択
陳情第7号	読谷村先進農業支援センターの有効活用に関する陳情	継続審査
意見書第7号	前沖縄防衛局長の沖縄県民を侮辱する暴言に対する抗議と防衛大臣の辞職を求める意見書	採 択
意見書第8号	〈メジロ〉『愛玩目的の捕獲禁止』にかかる特例措置に関する意見書	採 択

村有財産(土地・建物)の 現状と課題等に関する調査報告

総務常任委員会

1、調査目的

- 土地 公園・学校用地・その他公共施設用地等の村有地に関しては、その利活用状況・維持管理状況等の調査を行う。
- 建物 指定管理者及び村が直接管理を行っている建物の維持管理・財産管理等に関する現状と課題に関する調査を行う。

2、調査委員

委員長／伊波 篤 副委員長／當間 良史
委員／城間 勇・比嘉 郁也・仲宗根 盛良・上地 栄

3、調査期間

平成23年7月6日～11月18日

4、まとめ

本村は人口4万人を超え、行政サービスの需要は今後、ますます多種多様化する事が考えられる。これらに対応し、行政サービスを効率的かつ効果的に提供することを検討し実践しなければならない。

今回、調査した村有財産の中、土地の賃貸借契約については近隣地の状況に合わせ賃借料の改定に取り組み可能な財産については売却も提案されている。また、新たな土地活用については、旧比謝砦JA跡地に沖縄県介護保険広域連合の事務所の誘致に具体的に取り組んでいることは高く評価します。

しかし、一部には管理状態が良好とは言えない土地があり、定期的な現状確認の必要性和、有効活用についての緊急的な検討が必要である。

建物については、旧医師住宅が社会状況の変化を反映した新たな事業展開に供され村内外から注目されている事は高く評価し事業の充実を望みます。

一方、稼働日数・利用人員を精査する上で十分な利活用がされているとは言えない施設も見られた。

また、築20年以上の建物については老朽化に伴う改修や耐震性の課題そして、バリアフリーへの対応なども必要になってくることからそれに伴う財政計画も必要ではないだろうか。

最後に今後、新たに計画される村有財産の活用については多くの情報をより迅速に村民と共有することによって村民福祉の向上に資することを期待します。



沖縄県介護保険広域連合事務所予定地(旧比謝砦JA跡地)

質

問



上地 栄

一、県道六号線のラッシュの現状とその解消策は

答 県道六号線は本村の幹線道路に位置づけられ、交通量が多く、特に朝夕には慢性的な交通混雑が発生している。対策としては、主要幹線道路である沖縄西海岸道路読谷道路などの整備や現在整備を取り組んでいる村道中央残波線（平成二六年度使用開始予定）や村道波平く都屋線（平成二七年度使用開始予定）等の使

用開始が最善の混雑緩和策と考えている。

二、シルバー人材センターの設立については、平成十三年から七人の議員が質問し、老人クラブが行ったアンケートでも約八割の会員が設立を望んでいるので次の質問を行う

（一） 本村で同センターを設立するとすれば、設立時の費用及び設立後の運営経費はいくらか。
（二） 設立後の運営上の課題は。
（三） 同センターの設立の代わりに、これまでどのような老人福祉施策を実施したか。又生きがい対策システムづくりとはどういうことか。

答 **（一）** について一村としてセンターの設立と云う考えをもっていないので運営経費等についても議論されていない。**（二）** について一いかに受注する業務（ゴミ回収、清掃、草刈り等）を確保するかが課題である。**（三）** について一生きがい活動支援と就労支援がある。社会参加支援として、ボーリング大会、ゴルフ大会、舞踊等の支援をしているが、就労支援は取り組まれている。

三、本村に在住する米軍人、軍属の基地外居住者への行政サービスの経費負担はどうなっているか

答 現在、一九七一人が在住しており、ゴミ処理

四、本村の学力向上対策について何う

答 生きる力を身につけることを重視し、知徳体のバランスとれた児童の育成をめざしている。全国学力調査の結果は全国平均、県平均を下回っているが、各種の学力向上対策を取り組んでいきたい。



伊波 篤

質 TPP参加によって読谷村が受ける影響は

答 サトウキビで約2億5,000万円、肉用牛で約2億9,200万円

たな施設建設の詳細は

答 楚辺西原地区の第58通信大隊の司令部。楚辺東原地区の通信大隊情報管理センター。大木糸蒲原地区に管理棟事務所。渡具知与那部原地区に資材収納倉庫の4力所が予定され話し合いが行われている。詳細はまだ、

れた。内容を明らかに

答 4回開催された。今後は2力月に1回程度開催していく。楚辺地区からクラガーへの電気供給の件。渡具知区よりゲート付近の夜間騒音等について問題提起と協力要請を行った。米軍側から農産物直売所

月に撤去したほうが大潮の時期になるので海の環境等に優しい工事ができるのではないかとアドバ

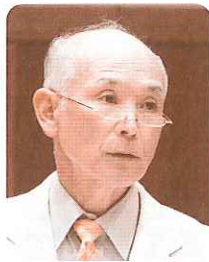
質 トロイ施設の黙認耕作地から多くの農産物が生産されている。農業振興の視点から具体的な支援策が行われているか

現在、先進農業集団地区の整備の進捗状況等から村としても現在の研修生に対する配慮が必要であると考えております。

質 現状において結論が出てない理由は
答 規則・条例等の改正が必要になる。その作業を行っている段階である。



ラッシュアワー時の古堅小付近



仲宗根盛良

万円、養豚で約6,000万円の減少になる。

質 村長の所見は

答 村民の生活や地域経済に大きな影響が懸念されるTPPへの参加は反対である。全国町村長大会でも参加反対に決議をした。

質 トリイ施設内への新

不明である。

質 詳細がまだ明らかでないのは体制が弱いのでは

答 文化財の調査等があり、まだ設計に移れないとの説明である。

質 トリイ施設において村・地元・米軍との間で連絡会議の開催が確認さ

の設置と、トリイビーチの石積工作物を4月に撤去する方針が示された。

質 石積工作物の撤去は4月とはいわず、早急に撤去すべく主張すべきではないか

答 米側からは、冬場の砂の移動について調査したい。漁港からは3〜4

然である。

質 軍転協と共に訪米直訴する考えはないか。

答 十分な意思統一を図り、軍転協と共に訪米直訴を計画したい。

質 米軍提供施設で農業振興地域には含まれてないことから事業導入支援は考えておりません。

質 先進農業支援センターで研修期間延長願いの要請書が提出された。見解と対処について伺う

答 要請書の内容及び支援センターの設置目的や

質 いつまでに結論が出るか

答 早い時期に進める。



地元・米軍との連絡会議が開催(トリイ施設入口)

一、第2回座喜味城通りふれあい祭りについて

質 世界遺産をアピールする良い機会でもあり、村も一緒になった連携の強化は図れないのか。

答 村も後援を行い、国からの補助(35万円)も活用している。

質 公民館前から鶴亀堂前までの歩道の有効活用はできないか。

答 座喜味区と協議を行い、活用を研究したい。

二、日米地位協定改定運動のその後について

質 不平等である日米地位協定をこれ以上放置させてはならないと思うが、運用改善ではなく、抜本的な改定を求める。

質 米国の連邦最高裁判決で「平時に軍法会議に付する事は憲法違反」に対する村長の見解は。

答 米軍属であっても、日本の法規に従う事は当

三、水道料金への消費税の導入について

質 平成22年度の水道料金の消費税額は。

答 三千八百四十一万八千五百八円です。

質 消費税を検討する時期に来ていると思うが。

答 国は消費税率の引き上げを予定しており、水道施設整備に必要がある。

質 条例に「消費税を徴収する」旨を明記し、附

四、ゆんた市場から発見された不発弾について

質 処理作業に従事した職員数と総時間は。

答 二時間で役場11人、消防団員11人、警察7人、消防4人の計33人。

質 不発弾の撤去作業費用は国が負担すべき事と根拠法の制定を要求すべきでないか。

答 戦後処理として不発弾処理に係る全ての責任と費用は国が負うべき。

五、「筋肉貯金」運動について

質 講演会后、役場内での検討結果を求める。

答 筋肉運動の普及員を強化し、地域の健康増進や介護予防に活用したい。

質 デイサービス事業への導入検討はできないか。

答 各地域の皆さんとも協議したい。

質 村民に「筋肉貯金」運動を提唱できないか。

答 各団体と連携する。



日米地位協定の改定を求める大型看板



照屋 清秀

一、仮称ヨミタン大学について

(a) 現在迄の進捗状況は
答 平成二十四年度開校目ざし、調査検討進めている。

(b) カリキュラムは

答 三つの視点から編成一つ目「基本的な視点」多目的に読谷村の将来を考える。

二つ目「座学と体験の融合の視点」、机上で学び実体験と組み合わせ活き

た知識を育む。

三つ目「協働の視点」、住み良い魅力ある村づくりを自主的、主体的に取り組む読谷型の協働を創造する。

三つの視点から「体育学部」「農学部」「読谷学部」の編成に取り組んでいる。

(c) 仮称ヨミタン大学の将来像は

答 学ぶ社会を提供し、卒業した受講生が学習成果を地域に還元する事で、その地域に子や孫が生まれ、地域の活性化の核となる人材が生まれ、新たな読谷村の創造発展につながることを期待。
再質 農学部と読谷学部

の内容は

答 プレ読谷村山芋スーブチャンピオン大会を二十五日行う予定。十カ字の参加を予定。読谷学部は読谷村の歴史、文化を勉強し直す形での講座で調整中

二、読谷村総合福祉計画から「ゆいまーる共生事業」の中で

(a) ボランティア参加が少ない等の課題への対応

答 課題として男性ボランティアの参加が少ない。老人会等への参加協力を呼びかけている。男性ボ

ランティア対象の講演会等実施していく。

(b) やりがいを感じる工夫とは。
答 色々な講習会を実施活動の魅力を地域に発信できるように支援をした

(c) ボランティア数の年度ごとの数値目標は

答 今年度のボランティア数は六百五十七名、年度ごとの数値目標定めてない。

三、読谷村の自律第二次行政改革実施計画から

(a) 指定管理者制度の活用検討でどの施設を指定

管理するのか

答 「女性の家」「喜名番所」「泊城公園」「体育施設」「健康増進センター」を調査研究し検討中。

再質 指定管理団体は

答 女性の家は改善グループ。喜名番所は観光協会。泊城はサンセット渡具知に委託管理。体育施設は議論至

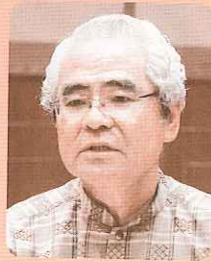
つてない、健康増進センターは勉強の段階。



ボランティア参加が課題になっている「ゆいまーる共生事業」

質

問



國吉 雅和

一、読谷まつりについて

答 村民総参加の秋の風物詩、まつりに参加したあの舞台に立ちたいとい



技は、鳳ホールの使用が練習風景を会場の大型スクリーンで映す工夫は

答 実行委員会の課題として検討したい。

(提案) 前夜祭を催し、飲食テナントで村民大交流会や第一回大会からの写真等の映像のコーナーを設ける。

日当たり三人なので廃止を求めるが

答 関係者の理解を求め廃止を検討します。(提案) ①海岸線を廃止し、

祝祭日に「イオンタウン」と「ゆんた市場」路線の設定 ②南線と東西線の路線を統合し、右回り・左回りすることにより一

三、水道利用金の消費税について

答 四十一市町村で消費税を転嫁していないのは、読谷村・嘉手納町です。

村が企業局に支払った総額は約四億円です。
質 水道利用金の消費税に対する見解は
答 本村では、返還軍用

四、学校訪問を通して

質 村単費の特別支援員配置の継続について

答 支援を必要とする生徒は増える傾向にあり、継続充実は必要と考えます。
質 読谷小学校の校門拡張(郵便局側)について
答 学校管理者を含め検討します。

う、四万村民の誇りの原点、活動の原点であります。本年は出演者七千五百人・入場者七万五千人で、過去五年間でプログラムに影響を与えた降雨量は四割ですが、文化の日の直近の土日開催を大切にしたい。

質 雨天時の小学生の演



大城 行治

質 読谷まつりについて

一、読谷まつりの収支は？

答 平成二十二年度、収入額、約千九百二十九万円、収支額、千七百六十八万円、差し引き残、約百六十万円。

二、まつり二日間の全体の入場者は？

答 平成二十三年度、読谷まつり闘牛二千人、民俗資料館・美術館三百人、体育センター千人、まつり本会場七万五千三百人。

三、鳳バスも臨時運行さ

二、鳳バスについて

答 年間の使用料収入は約二百五十万円、運営費は約二千五百万円・利用者数二万人で本年は約二割増の見込みです。村民の利便性と時間帯を工夫した路線で福祉の政策としていきたい。

質 海岸線の利用者は一

れたが、その利用状況は？

答 初日の土曜日は、百八十五人、日曜日は二百三十七人、合わせて四百二十二人

四、商工会が担当のテナントの状況と売上は？

答 平成二十三年度、物販十四、飲食二十三、その他九、合計四十六店舗。売上約千八百九十八万円

五、今年の読谷まつりの総括と今後のまつりはどうあるべきか？

答 コンディションは良くなかったが、多くのお客様に来場いただいた。引き続き環境にやさしい美ら村、健康の村をサブテーマに「地域に根差し

周約三十分（現在五十五分）の路線になる。⑧利用料金を一律百円にする。と高校生の利用増になる。（バス利用金三百二十円が北と南線利用で二百円）右記提案を工夫することにより、利用者増になり村民の理解につながると考える。

た産業、経済、文化、芸術の発展を！期するべく取り組みたい。

再質 補助金は？環境・健康をテーマにしているが？特産品のアピールは？

答 一般会計から千二百八十万円、意識啓もうのためキャラクターを作った。その活用を図りたい。特産品もまつりを利用してアピールしていきたい。

質 先進農業支援センターについて 一、研修事業の状況と研修生受け入れについて

答 現在、花卉研修コース十二名・野菜研修コース三名の研修生が、ピニールハウスや平張りハウス

地の跡地利用として、宅地的利用が予定され給水人口増にともなう配水管の更新や耐震化・施設の更新等があり、消費税率の引き上げがあれば水道事業運営を維持することは困難になりますので、村民の理解を求め転嫁も検討する必要があります。

質 火葬場建設について

一、建設場所、施設規模は？

二、事業スケジュールは？

三、事業費の補助メニューと使用料は？

答 建設場所は、字親志砂良原で、建設面積は千五百二十㎡。平成二十六年年度工事完了、平成二十七年年度供用開始の予定。補助メニューは決まっていない。基金条例に基づき、積立予定である。使用料については、各市町村の情報を収集しております。

七施設を条例規則等の改正等を行って平成二十四年度内には進めていきたい。



読谷小学校校門拡張を！（郵便局側）



毎年大盛況のよみたんまつり

質

問



山城 正輝

歴史的十二月議会・政務調査費の導入↓村民本位といえるか？

十四市町村が助成。検討していきたくと考えている。

横田自治会入口(国道五十八号側)排水路の改修

山城 排水により、個人有地が浸食、沈下し、墓に影響を与えている事に対応策をどう考えるか。

新城直喜土木建設課長

建設時期不明。コンクリートブロック、土間に傾きが見られる。予算残を見ながら、次年度どういう方法があるか段階的に進めていきたい。

旧座喜味甘しよ組合関係者との信頼回復↓継続して協議

高齢者肺炎球菌ワクチンへの助成↓検討中

山城正輝 一度ワクチンうてば五年間有効、一人当たり医療費七〜十二万円減額になり、広域連合も助成するというワクチンに村も助成すべきではないか。

山内勝美こども未来課長



比嘉 郁也

読谷村の行政区改善について

質 行政区割は住居人口を元に平準化しては

めに急ぎ入り、そして住民説明、条例の審議をへて平成二十五年実施という事で考えています。

質 行政区長と副区長を置きそれぞれ行政事務受託割合を分担するシステムにしたかどうか。

本村では住居表示制度は実施されておらず、導入に当たつての課題については、地域住民との合意形成が最重要課題だと考えます。

質 大湾東振興地区や新たに区割りによる地域も検討の余地はないか。

又は持ち去りの事例報告苦情は把握しているか。

再質 緊張感のない答弁であり問二と問三に矛盾があり条例順守義務に照らしていかげなものか

校庭に果樹を

質 情操教育の一面から一考に値するのでは

答 教育総務課長喜瀬栄 学校の情操教育は、さま

継続して協議を行っていききたい。

村内ホームレスの皆さんへの対応策↓対応策の場設定

山城 義務教育にかかる父母負担が増えている中、嘉手納町、国頭村、名護市等では、完全無料化、一部無料化が進んでいる。義務教育は無償という憲法もあり、国連や日本の教育を考える専門家の会などの提言もある。村としても対応すべきではないか。

山城 村内のホームレスがふえてきた。社会の犠牲者でもある。支援法には村の責任と施策策定が位置づけられている。

石嶺傳實村長

比嘉源勇教育長

今後とも保護者をお願いしたい。

今後とも保護者をお願いしたい。



地盤沈下する横田地区入口の墓地

般

答 総務課長 與那覇準
 現段階は区長の皆さんと意見交換を行っている中で極力均等にするような意見は出ていません。今現在、区長会の中で行政区割について議論をしている最中でして、次に各種団体の皆さんと意見交換、そして大綱のまと



上地利枝子

質 本村として今後予定されている村道に、自転車道設置の予定はあるのか。

答 今後整備が予定されている村道への設置予定はございません。

質 東日本大震災以後、エコ社会活動で全国的に自転車道を推進している傾向にあります。読谷高校と嘉手納高校では自転車通学を許可し、それぞれ200台の自転車を学校へ

して念頭にありますが、今後議論しなければならぬ課題であり、また行政の案にするには至っておりません。

住居表示制度について

質 現状と課題は
答 都市計画課長古堅守

登録し自転車通学をおこなっている現状で、自転車道の整備が急務だともありますが、安全教育についてはどのように行っているのか。

答 自転車歩行者道とするためには一般的に三メートル以上の幅が必要で、歩道を自転車が必要の場合は歩行者の安全が優先されます。そういうことを勘案して道路交通法の中で公安委員会が歩道に自転車通行標示を立て許可することになって

いるので、本村としても今後予定されている道路については状況を踏まえ、検討していきたいと思

しては、組合の皆さんと議論はされておらず、大湾地区や比謝区、比謝橋区と地権者及び関係課との課題として協議します。

読谷村環境美化について

質 ゴミの戸別収集実施後、ゴミ袋の開封や物色

ます。交通安全教育については、嘉手納地区交通安全協会の方で、幼稚園児から高齢者まで毎年実施しております。

要望 エコ社会活動推進の一環として、健康づくりの為、交通渋滞を緩和する為、自転車は非常に効果があると思います。安全で安心して通行できる自転車道の整備を早急にお願します。

質 認可外保育園への来年度の具体的な支援は、
答 23年度並みの補助は継続して予定しております。次年度は安心子ども基金関係で国、県の予算の中で調整の上、認可

答 自動販売機の設置数は聞き取り調査の結果、六百三十九台の報告を受けている。

質 販売機の設置規則は守られているか。

答 自動販売機の設置届及び空き缶等回収設置義務に関する条例及び規則に基づき指導等を行っている。

外へ補助できるのがあればその時点で考えていきたいと思

質 自殺予防対策

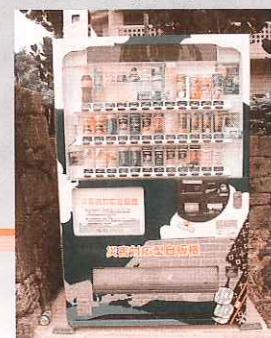
答 自殺の根本的な原因として事業不振、職場環境の変化、過労、あるいは人間関係と身体疾患といったのがございますが対策として、福祉課では毎週月曜日と水曜日の午前中、心の相談室ということで相談支援専門員を配置して対応に当たっております。

要望 地域福祉計画にあります、コミュニティソーシャルワーカーを早急に配置をし、一人一人のニーズに合った課題解決

さまざまな取り組みを行っております。御提案の校庭内に果樹を植えて育てるのも相

な効果が
 あり学校
 現場と検
 討します。

につとめていた、きたい
質 読谷中学校下校時の安全対策として街灯設置は出来ないか、
答 都屋、波平大当向けと土地から波平集落向けに街灯がない箇所があります。冬場の下校時には暗い上に車両の通過も相当あることから、安全確保の為に段階的に整備していきたい、今年度は早速二棟手配して



空き缶回収をしっかりと!



安全対策として街灯設置を（読中前道路）大当方面



当間 良史

議会が一つとなつて新しい村づくりをしていけるよう活発な議会にしてまいりたいと思います。

二〇一一年という年は本当に激動の年でありました。3月11日起きた東日本大震災に始まり、

福島原発事故、さらに台風による自然災害がありました。本村の人口も4万人を突破しさらなる議会の意義と行政の執行力、そして村長のリーダーシップが問われる時であります。新しく村に移つて来られた方々に、この村がすばらしい村だと言える様、村民と行政そして

「サイクリングロード（ツーリングロード）を本村に整備出来ないか」

質 原油価格の高騰やエコ（環境問題）により自転車を使用される方が増えています。整備によりイベント誘致につながるのでは。

答 現在のところサイクリングロード（自転車道）の整備計画はないが、大型のサイクリングイベントが年々参加人数をふやしている。本村でも6月

に日本サイクリング協会主催で「第56回全国サイクリング大会」が行われます。イベントの開催により沖縄の歴史・観光資源等の魅力は大きい。

質 義務教育での自転車通学は出来ないか

答 教育委員会としては、交通マナーや安全面の点から徒歩による通学を奨励している。

の活用と継承者の育成になり、また村おこしが出れないか。

質 座喜味と親志を結ぶ村道と農道の交差点は朝夕の交通量が多く大変危険であるとの声が絶えずあるが。

答 現在、注意看板を2基設置してあるが、その他雑木の伐採作業と減速を促すハンブ（凸型舗装）工事や「止まれ」の路面

表示を行い、12月中に完成予定。

「座喜味城跡裏の木道が通行止め・・・」

質 現在通行止めになっているが今後の対応は。



嘉手苜林春

（一）村民農園の設置について 読谷補助飛行場跡地に村民農園の設置



答 「6次産業化」を推進している。国の重要施策にもなっている。本村においても国の事業制度の情報提供や、これまで地元企業、農水産業者と進めてきた取り組みを継続する。

対して適切な管理を求めるときではないか。

答 読谷村の条例に基づき対応していく

（四）長浜地区から国道58号へ抜ける道路設置について 議会報告会のために問題提起されている当局の考えは

答 現在のところ整備計



座喜味（トーガー）の交差点

は出来ないか

答 センター地区内の一面に設置が可能かどうか関係課協議をしながら農園の検討をしてまいりたい。

(一) 産業の課題について 農林業の生産、読谷山花織やヤチムン等の地域文化、商業等の産業交流による新しい開発可能性が潜在しているが具体的施策は

(二) 国道バイパス用地について 買収済の土地が荒れ放題になってい。結果としてハブの生息地、ネズミや蚊の発生等極めて不衛生！国に



画はない。当該道路の交通量や費用対効果、環境への影響などを踏まえて、長期的な視点で必要性も含め検討が必要になると考える。



津波古菊江

質 村内には各地域に後世に伝えていくべきと思われる文化財が数多く存在しているが文化財で地域活性化とホスピタリティーな観光資源としての利活用について

答 文化財を活かした村づくりを実践してきた。ホスピタリティーな観光資源として利活用するには地元に住む人々が地域の文化財を把握理解して案内する事で多くの効果

が出てくる。村民等の意見を通じ文化財の活用に向けて検討したい。

質 座喜味城跡の管理について ① 高倉の屋根の復元と説明案内板の文字が一部磨耗により読みづらい ② 手洗場の屋根のハリの一部分が剥離落下危険 ③ 一の郭の奉納灯籠についての説明案内板の設置

答 ① 予算処置を行い修理 ② 定期的点検実施で事前対策する。③ 歴史民俗資料館や座喜味城跡パンプレットで対応。

入館数 ① 城跡内の案内人の配置について

答 ① 年間二十万程 ② 平成二十二年度一七〇九五

再質 年間観光客数の9%の資料館入館数のだが低い原因についてと対応

答 城跡がネームバリュー大の結果だと思いが玄関の暗さ等に含め新読谷村立歴史民俗資料館基本構想の中で城跡と一体の管理運営がうたわれている。

質 平成二十三年度より住宅用火災警報器の設置の義務化されたが六十五歳以上の高齢者のみ世帯や単身世帯も増えてい

るが行政の支援を必要とする設置対象者と設置状況について

答 聴覚障害の世帯一七〇世帯、視覚障害世帯八二世帯である

再質 二五二世帯の皆さんへの火災警報器の助成は

答 障害支援日常生活用具助成で非課税世帯障害二級以上の単独世帯は限度額一万五千円助成有対象者には事業の周知をしていく。生活保護世帯の聴覚障害の方へ国助成有

村内は一〇世帯が該当
質 ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチン、子宮頸ガン予防ワクチンの接種状況について ① 対象

人数と接種済人数 ① 次年度以降のワクチンの助成の継続について

答 対象人数ヒブ、小児ワクチン共二五二三人で接種済み一〇七二人、一〇六一人で約四十三%、

子宮頸ガン予防ワクチンは中一〜高一の対象で一〇〇一人で一回目接種済

七一人、(三月末までに三回接種が必要) 次年度対象者ヒブ、小児ワクチンが〇歳児、子宮頸ガン予防ワクチン中学一年生

のみ



早急高倉復元を望む

質

問



山内 政徳

質 読中生徒の登下校について、改善が必要なことはないか

答 一気にできる部分と段階的にできる部分、できない部分はどうするか。関係者と十分詰め作業をさせていただきます。

質 渡慶次小学校、古堅南小学校について、修繕、改築等の計画はどうなっているか



長浜 宗則

質 AEDの設置状況について

① 現在の公共施設の設置は何箇所か、

るか

答 現時点では具体的な計画はもっておりません。

再質 トイレの改修については

答 教育委員会としてはずっと頭に置いてありますので経済対策等、何らかのチャンスがつかめるのでしたら、対応していきたい。

質 特定検診率、生活習慣病予防対策について現在の取り組みとこれからの計画について

答 受診率は平成二十二年度で三七・三%となっております。担当課職員が日曜日や夕方の在宅が見込まれる時間帯等に訪問して受診勧奨を行ってまいります。

質 長野県松川町では人口一万人で集団健診が一五〇回読谷村は人口四万人で五十回少ないのでは

答 勉強させていただきたい。

質 現在、計画のあります行政区改善について村長の所見を

伺います

答 過去の経緯を踏まえると失敗は許されないと考えております。

質 旧読谷中学校跡地についての進捗状況は

答 住民アンケートも実施いたしました。その中で商業施設を望んでいる声はかなりありました。売却しますと坪八万円、七億三千万円。賃貸の場合今は約一千五百万円ほどになる。読中移転費八億近くの元利償還金が発



今後の活用に期待 (旧読谷中学校跡地)

生、ただ現在の経済状況を見ると果して一括で買取ってくれる業者がいるかと。財源を生み出す観点から一部賃貸も視野に入れていきたい。

共施設の設置予定は

答 公民館の設置状況は楚辺公民館のみで平成25年度に未設置公民館にリース方式を導入を議論したい。村立3保育園は24年度に設置予定である。

① 地域公園事業の進捗

質 公園整備事業から

ている。

今後、南部地区、中部地区、北部地区と計画を進める。

② 遊具の整備の予定は
答 既存の遊具を基に、地区の区長、子ども育成会の意見を伺って進めて行きたい。

質 スポーツでまちづく

を目指し、地域社会及び関係団体と連携を密にする中でスポーツ、健康づくりを推進している。

③ スポーツイベントの誘致の予定は

答 3月9日、第15回ちゅーばーリーグ、4月20日、第30回全国シニアソフトボール大会、6

喜味城跡を教育、観光、地域振興のマスタープランの策定が必要とおもわれますが、

答 平成21年3月に「第2次読谷村観光振興計画」を策定しこの中で中長期計画として、世界遺産座喜味城跡の保全、活用の推進が掲げられており持続可

答 小学校5台、中学4台、役場2台、診療所1台、図書館1台、資料館1台、平和の森球場、体育センター、陸上競技場文化センターにそれぞれ1台、健康増進センター1台、こども未来課に1台で合計21台。

☐ 公民館、その他の公

状況は
答 平成22年度から25年度までの計画で村内18の都市公園のバリアフリー化とトイレ、園路の改修、遊具の設置で予算は4億円見込んでいます。財源は都市公園安全安心対策緊急総合支援事業で国からの補助金を活用し

りから
① スポーツ振興と健康増進の推進は
答 村民一人一人がそれぞれのライフステージに応じて、日常生活の中にスポーツ社会健康づくりを取り入れて、健康の保持、推進を図るとともに、生涯スポーツ社会の実現

月10日、第56回全国サイクリング大会、プロ野球キャンプ、サッカーキヤンプ予定。
質 世界遺産とまちづくりから
① 座喜味城跡への入場数は
答 約20万人
☐ 世界遺産としての座

能な観光活用や景観保全、歴史的資源の掘り起こしを掲げている。又、新読谷村歴史民族資料館基本構想を策定し、その中でも座喜味城跡と資料館が一体となった管理、運営を掲げている。



リニューアルされた古堅第二公園



伊佐 真武

一、読谷まつり、青少年の古典音楽、文化継承について

質 ①過去五年間、読谷まつりに参加した古典音楽(三線・琴)の児童生徒の人数の概要は。②村内小・中学校における過去数年の三線、琴のクラブの存否及びクラブ員数は。

答 ①平成十九年から順次176名、177名、216名、217名、185名。②平成二

一年から順次、四ヶ所86名、七ヶ所92名、五ヶ所86名、七ヶ所92名、五ヶ所77名。琴クラブは古堅南小一ヶ所で毎年一〇名前後となっています。
質 今後、参加人数の減少を懸念する声もありますが対策は。

答 子ども文化育成事業で、各学校の希望に添って、文化センターを通して地域からの外部講師派遣事業を充実させていく

として子ども達の指導に当たっていただいている事にお礼を申し上げます。各学校との連携については全教職員の研修会の中で絶えず申し上げている事は、各学校、全県的に共通的な部分は先生方頑張っていたかと思えますが、特に読谷村においては伝統文化の継承という事でぜひ先生方の御協力、御指導をお願い申し上げます。

質 ①中部地域の病院で予防接種の費用はどれ位か。②村立診療所において費用はいくらか。③公費助成の検討はあるか。
答 ①中部地域の病院では八三〇〇円の接種費用
②村立診療所においては六千円の費用。③公費助成については調査中。

捗状況は。②当該地域への下水道整備計画はあるか。③現場は読谷村の玄関であり、文化の発展、継承の場である。排水路は地中化すべきでは。
答 ①ゴルフ場内修繕後に行うとの報告です。②下水道整備計画はない。③地中化の予定もないとの報告です。

二、高齢者への肺炎球菌予防接種について

質 文化村づくりの見地から教育委員会と学校現場との連携は。

答 本村の文化協会、古典音楽部の皆様、先輩方が各学校にボランティア

肺炎球菌ワクチンは高齢者への肺炎予防に効果が高いワクチンとして近年注目されています。

質 非課税世帯や、慢性呼吸疾患の人、心不全などの病気に優先的に公費助成が考えられないでしょうか。
答 それらも含めて内部検討させていただきます。

質 当該地を村が買取り整備すべきでは。
答 吉屋チルー歌碑などがある村有地に比謝橋碑文を移設するのが良いのではと検討している。

三、比謝橋碑前の生活排水路について

質 ①改善に向けての進

「比謝砦碑」前の排水路

「比謝砦碑」前の排水路



「比謝砦碑」前の排水路

政務調査費とは



城間 勇

一、環太平洋連携協定（TPP）への交渉参加表明について。

質 TPPへの交渉参加表明について村当局の見解をお伺い致します。

答 TPPは、ほぼ百分の関税撤廃を目指しており、関税が撤廃され、完全に自由化されれば、本県の基幹作物のサトウキビやパイナップルを初め、農畜産物に壊滅的な打撃を与えるばかりでなく、

商品加工などの関連産業に至るまで、多方面にわたり深刻な影響が懸念されます。本村農業を初めとする村民生活や地域経済に打撃を与えるおそれのあるTPP交渉への参加には断固反対であります。

二、比謝砦の旧読谷農協跡地について。

質 沖縄県介護保険広域連合の事務所の誘致計画のめどは

答 本村以外にも複数の候補地があり、現段階では決定に至ってない。質 事業計画概要、事業内容と財源内訳について

答 現段階の案として、敷地面積は四千五百十㎡、約千三百六十四坪で、建物につきましては鉄骨つくり三階建て、延べ床面積千六百二十㎡約五百坪で、一階を福祉施設及びコンビニ等の小規模商業施設、二階、三階を介護保険広域連合事務所として計画しております。財源につきましては、建物

は十年間リース方式を考えており、建設費はおおむね四億三千五百万円、資金計画として、建物の法定対応年数を勘案して三十年でシミュレーションを行いますと、歳入側では介護保険広域連合等

からの家賃収入として三十年間で六億千八百万円、歳出側では建物リース代借地料が三十年間で四億八千万円で差し引き一億三千八百万円の黒字になると試算、年間当たり四百五十七万円となります。

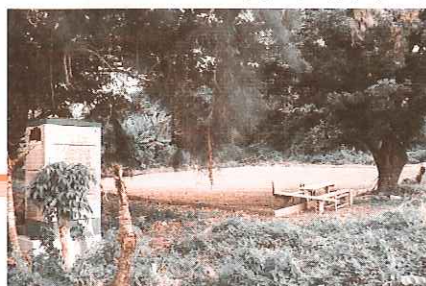
三、国道五十八号嘉手納バイパス読谷道路、大木、古堅線と道路用地部分、早期の除草作業が必要と思えますが。

答 今年度は七月に実施し、二回目を十一月より実施中。交通安全や環境美化の面で定期的な除草作業を南部国道事務所に

対し要請をするなど対応していきたい。

四、オプリー読谷店古堅四百九十七番地一の南側より沖縄県ポンプ場古堅及び排水路、現在でこぼこ道で整備の声がありますが

答 でこぼこを修繕するため流しコーラルを補充するなど、整地を行う対策の検討を行ってまいりたい。



沖縄県介護保険広域連合事務所予定地（比謝砦J A跡地）

政務調査費は、地方自治法100条第14項、15項、読谷村議会基本条例第9条及び読谷村議会政務調査費の交付に関する条例の規定に基づき、読谷村議会議員の調査研究に資するための必要な経費の一部として交付されるものであり、村政に関する調査研究に資するため必要な経費以外のものに充ててはならない。

充実強化を図らなければならないことから、地方自治法で政務調査費が制度化（H12年）されました。本条例には以下のことが明記されています。

- ① 二元制の立場から、議員の政策提起能力を高めることを目的に議員の調査研究に資するための必要な経費の一部として交付されるものであり、村政に関する調査研究に資するため必要な経費以外のものに充ててはならない。
- ② 支給対象は議員のみとする。
- ③ 交付方法は月額（15,000円）とし、原則として4月と10月に交付する。
- ④ 収支報告書の提出義務及び透明性の確保の観点から領収書の添付を義務化する。
- ⑤ 会計帳簿は議員本人が調整し、証拠書類を5年間保管する。
- ⑥ 収支報告書等は、読谷村情報公開条例の規定に基づき公開の対象とする。
- ⑦ 研修報告書の提出を義務化する。

地方分権一括法の施行により、地方公共団体の自己の決定権、責任が拡大する中で、議会が担う役割はますます重要です。このため議会の活性化を図るためには、その審議能力を強化することが不可欠で、議員の調査活動の

※なお、県内町村では、西原町、金武町、北谷町、八重瀬町、中城村、与那原町の議会で活用されている。

第4回 ぎかい報告会

村民多数のご意見 ありがとうございます

(A班)

上地 栄 津波古菊江 新垣 修幸
嘉手苜林春 伊佐 真武 仲宗根盛良

【平成23年11月21日・瀬名波公民館】渡慶次小学校区

Q1、長浜側から国道58号線に向けての村道の設定はできないか。
A) 村としては今のところ村道計画はない。

Q2、役場からの書類も多すぎるし、特に老人の相談窓口も設定してもらいたい。
A) 担当課に提起します。

Q3、鳳バスの運行について、中学生だけを無料にするなり、定期券一枚で家族全員が乗車できる方法や、青少年の健全育成の面からも検討してほしい。
A) 交通弱者の為に導入されたものであるが、今なお村民からはいろいろのご指摘があり、あらゆる角度から議論をしていきたい。

Q4、村と市のメリットとデメリットはどういうものがあるか。
A) 市への昇格は人口5万人以上が条件です。日本一の村を目指してきた経過もあり、村としての主体性を高めた方が良い。

Q5、これまで、この種の会合で提起されたことがどのような方法で村民に回答され、また、実現がなされたか説明を求めたい。
A) 議員全体で検討した結果を、「議会だより」で各家庭に配布し、また、一般質問などで村当局へ政策の実現を提起している。

Q6、報告会は4回目と言うが、どんな方法で村民に広報しているか。

A) 区長会を通じ、各区長さんにチラシを配り、各区民への広報の依頼をしている。

Q7、F B I S 跡地(瀬名波通信施設)の里道や農道について、草刈りや補修等は村がするのか、字が行うのか、議会としてどういう考えを持っているのか。
A) 現在は補修等は実施されていない。緊急性のあるところは対応されている。本件については議会として、対応を提起したい。

Q8、軍用地跡地への不法投棄が多くなっており、パトロールと看板の設置などはどうなっているか。
A) パトロールと看板などの設置も行われているが、十分にチェックの行き届かないところも考えられ、村民から担当課への連絡もお願いしたい。

Q9、公共施設建設基金条例で3つの建物が計画されているが、それぞれの年度の説明をお願いしたい。
A) ①図書館が平成25・26年、②調理場が平成26年、③歴史民俗資料館が平成27年の予定です。

【平成23年11月24日・波平公民館】読谷小学校区
Q1、平成25年度に行政区改善が計画され、それに伴い認可地縁団体の認可を得る準備をしている。改善後の名称等はどうなるのか。
A) 行政区は区割りであり、分かりやすい名称を使用し、認可地縁団体とは組織が異なるので、それぞれの既存字の判断となる。

Q2、以前に行政区改善について、区長会への総務課長から説明を2〜3回受けたが、今年の4月に区長も4〜5名交替し、その後は説明会もないが、ど



瀬名波公民館

うなっているか。一度も副村長や総務企画部長からの説明を受けたこともない。

A) 3・11の東北大震災で防災計画などの再編に多忙を極め、十分なる説明が進行してなく、行政区改善の説明を再度実施していく。

Q3、読中跡地の方向性について、アンケート調査もあったが、その後の経過と村の考え方はどうなのか。また、波平地域にはスーパードもなく、この種の立地も考えられないか。

A) 村当局としては、売却したいというのが基本的な考え方である。

Q4、鳳バスは二、二〇〇万円もの赤字がでていよう、今後はどのようにしようとしているのか。

A) 耐用年数の残る期間は活用したいというのが、村当局の方針です。

Q5、鳳バスを給油所向かいの教会より東門を通り、公民館前からの運行を求めたい。

A) 波平区の強い要望として提起してあります。

Q6、一、〇〇〇万円を東北大震災に寄附されているが、この財源は何で充当されたか。

A) 予算は厳しい状況ではありますが、村としても心からの支援をするため、一般財源から充当しました。(岩手県三〇〇万円、宮城県三〇〇万円、福島県三〇〇万円、岩手県遠野市一〇〇万円)

Q7、親志波平線よりも波平く都屋線を早めに施工すべきと思うが、その後は



波平公民館

どうなっているか。

A) 中央残波線の変更に伴い、平成24年度に計画されている。

Q8、国道読谷道路の進捗状況はどうなっているか。交通アクセスが非常に悪くなってきたおり、嘉手納側とも協議し、道路変更も含め、読谷村として提起できないか。なお、嘉手納バイパスの早期開通に向けて努力してもらいたい。

A) 嘉手納町側で町民とのいろいろな問題がネックとなっており、まだまだ時間を要すると思う。議会としては、一日も早い開通に向けて努力する。

Q9、読中跡のグラウンド敷地を借用させてもらっているが、公民館も建設して間もないため、同敷地の購入も出来ない状況にある。良い方策はないか。

A) 波平区の要望として提言していく。

Q10、読中から西側むけの生徒が下校時の道路に簡易の外灯を設置して欲しい。

A) 生徒の安心・安全を守る立場から申し入れる。

Q11、本会議の際、答弁予定のない課長もなぜ全員出席しているのか。必要がないと思う業務遂行した方がよい。

A) 以前にも定例会と臨時会への村当局の本会議出席者について改善を行った。今回の提起も全議員で協議し、村当局と話し合って検討したい。

Q12、区長会と議会の交流会を是非実施してもらいたい。

A) 良い提案であり、全議員で協議し、実施する。

(B班)

- 伊波 篤 城間 勇 知花 徳栄
- 富山 勝吉 照屋 清秀 長浜 宗則

【平成22年11月21日・大添公民館】古堅小学校区

Q1、行政区改善が予定されているが、どう考えるか。行政区未加入問題は。

A) 村全体で49%が未加入で、特に南部地域は65%が未加入である。村は

平成25年制定（行政区割等）するとの事。議会も行政区改善等調査特別委員会を設置し19回の会議を開催している。

Q2、県道6号線の渋滞解消については県の仕事と思うが、要請すべきではないか。村は県へ要請してないと聞いている（朝と夕方渋滞がある）。セーラ苑から東側への通り抜けは、

A) セーラ苑から東側への通り抜けは、平成27年度以降に開通予定と聞いている。

Q3、県道6号線の渋滞の件で、南部地域の

区長と議会の建設経済委員会でも南部地域の道路について、中・長期的な計画があるとの説明を受けた。10年以上経過しても計画が進んでない。中央残波線の開通により、渋滞が解消できると思うが。

A) 平成25年度供用開始の予定である。大木喜名線の設計が入っており、事業が終了すれば渋滞はかなり解消すると思う。

読谷道路の開通が早ければ、渋滞解消は早いと思う。大木の区画整理事業を早く行う事で、読谷道路の開通も早くなる。平成24年〜26年に県道6号線との交差点はボックスカルバートになる。南部地域より陳情が出されているので、事業も早くなると思う。

Q4、読谷道路の進捗状況は。

A) 平成24年度一部舗装。沖ハム方向へのアクセスは未定。嘉手納側も見透しが見えない。

Q5、TPP問題についての対応は。

A) TPP問題について、すでに議会で反対決議を行った。



大添公民館

Q6、読谷村での幸福度は、どの位置にあるか。
A) 幸福度について議論したことはない。

Q7、読谷村のラスパイルズ指数は高いと聞くが。
A) 市町村の財政により違ってくる。他市町村に比べ、人口に対しての職員数は少ない状況である。

Q8、議会報告会での要請事項の中で何を優先し、議員はどの項目から実行していくのか。
A) 5会場で同様の報告会が開催されている。終了後に全体協議会でまとめ回答していく。

Q9、大型スーパー、総合病院等、健康福祉面での施設がほしい。
A) 返還軍用地跡地に病院等を作るための陳情が提出される予定である。

Q10、児童公園に遊具等の整備が少ない。
A) 遊具整備は計画中、近々に「都市公園安全・安心対策整備事業」でブランコ、スベリ台、砂場等が事業化される予定である。

Q11、障害者雇用は生かされているが、シルバー人材の活用がない。
A) シルバー人材の件は、これまでも議会で活発に議論されている。

Q12、特定検診の受診率は、大添が45%と思うが、65%にするために頑張っているが若者（40代）を説得する方法は。

A) 各地域での差があり、若者対策は厳しい状況にある。健康サポーター制度導入により成果は期待されている。

糖尿病予備軍が一、〇〇〇名程いる中で、透析患者になると治療代として年間六〇〇万円／一人かかる。それを防ぐ為にも特定検診受診率を上げる努力が必要である。

Q13、現在の居住している自治会には加入せず、旧部落に加入している村民がいるのはおかしいと思う。故に未加入問題がある。行政区と番地（例行政区は大添だが、郵便物は楚辺となっている）が違うので、改善できないか。
A 議会としても、行政区改善等調査特別委員会を設置して議論している。

Q14、県道6号線は対面通行である為に渋滞している。4車線の交通形態になれば解消されると思うが。
A 提言として受け止めます。

Q15、ユニバーサル社会の実現（健常者・障害者・高齢者すべての人）
A 提言として受け止めます。

Q16、急傾斜地崩壊危険区域の落石防止及びトリイ基地からの落石対策。
A 県の事業で、県と連携して対応していくとの答弁がありました。

Q17、AEDの導入（村民の命と暮らしを守ることを最優先の施策に）。
A 村としては増設したいと答弁しています。

Q18、楚辺東公園維持管理費及び整備計画（防災機能の高い公園整備）
A 提言として受け止めます。

Q19、地域防災計画（災害時における米軍や事業者との協定）。
A 提言として受け止めます。

Q20、県道6号線緑石の適正化（緑石高10cmが随所にあり、歩行者が危ない）。
A 提言として受け止めます。

Q21、村有財産（里道）の問題。
A 議会から提言してあります。

(C班)

國吉 雅和 山城 正輝 比嘉 郁也
 上地利枝子 當間 良史 大城 行治

【平成22年11月21日・比謝公民館】古堅南小学校区

Q1、区長会の時に、総務課長より南地区の区長に行政区改革についての説明があったが、今、現在の進捗と議員の認識状況は。
A 行政区改善の話が出たそもその理由は、人口も4万人を超え、これまでの字体制では限界にきている。

過去の行政区改善のような字と字を合併させようとする改善ではなく、区割りにより行政未加入者を無くす目的での改善である。

村条例において、字は条例に謳われてなく、何処までがどの字なのか条文化されていないのが現状である。また、平成22年度より県の指導により、公民館での税金徴収も廃止された。

具体的な案は未だないが、行政としては平成25年度までにはスタートさせたいようである。それに伴い、議会では行政区改善等調査特別委員会を設置し、今後の地域コミュニケーションの形成、村づくりを考えているところである。
 ・現在、支給されている運営補助金等は、従来どおり補償される。

Q2、委員会にて、自治基本条例について取り組んでいるようであるが。
A 総務常任委員会にて、自治基本条例の素案を調査し、基本的な事項について提起してある。

Q3、来年より大湾東の区画整理（26ha）が始まるが、そこでは地番表示ではなく住居表示の方が良いと思うが。
A 住居表示に関して、宜野湾市を調査した際、読谷村でも取り入れるべきとの発言もあったが、村としての計画はない。



比謝公民館

Q4、今後、村道認定はしないとの話を聞いたがどうか。

A) 村道を認めないという話は聞いたことがない。(仮)伊良皆く大湾線、比謝横断線などは村道計画である。

Q5、比謝佐久原は最初に軍の司令部が出来たところであり、村認定の第一種低層住宅地であるが、道がなく家を建てるが出来ず基地化している。地主より公園及び道を作って欲しいとの声があるが。

A) 中央残波線を含めた飛行場跡地整備がメインとなっており、全体的な道路整備には至っていない。マスタープランの道路計画でも大まかな計画しかない。

Q6、伊良皆く大湾線から16号線に抜ける道がなく、一方通行が多いため不便である。渋滞緩和のためにも虎地原線を含め早めの対応を求む。

A) 中期、長期の計画の遅れを感じており、議会として村民目線で取り組んでいく。

Q7、①古堅南小から大湾に抜ける道の渋滞がひどく、古堅区民は大湾を回って公民館に通っている。その区間に一方通行が3つもあり、一度入るとなかなか抜けきれない。昭和55年(30年以上前)に整備してあるので、今の事情とは違うのでその点を考慮してほしい。

②学生が部活に行く為に自転車を通るが大変危険な道である。せめて一方通行を変更出来ないか。

A) ①昭和55年に交通安全の観点から安全性を重視した道路整備であったと聞いているので、行政と関係者も交えての意見交換が必要であると認識している。

②なぜ一方通行になったのかを精査していきたい。

Q8、国道読谷道路事業の予算が凍結したと聞いたが。

A) 国道読谷道路事業の予算は凍結ではなく、来年度あたりから中央残波線の方まで着手する予定である。大木区画整理も計画が進む予定であることから予算の心配はないと認識している。

Q9、比謝缸地域の吉屋チルー之碑の近くで汚水の垂れ流しがみられる。

A) 議員が、比謝川河川の問題を取り上げているところである。

Q10、下水道整備が比謝缸地域(南地区)にはいつできるのか。

A) 下水道に関し、南部地域は広域の流域であり整備中である。北部地域よりは進んでいる。

Q11、行政区改善すると聞いたが区割りはどうなっているか。20年ほど前は15の区に分けていたが。

A) 行政区の線引きがポイントになると認識している。

Q12、行政と議会は行政区改善をどのような位置づけで動いているのか。

A) 行政も地域の皆さんの活動を支援していくつもりであり、未加入者を無くす改善である。

Q13、平成23年より策定された地域福祉計画では「今ある公民館は自治公民館となり、また、福祉公民館でもある」とあるが、行政区改善との関係性と計画に対し、議会の見解は。

A) 地域福祉計画が平成23年より策定されスタートし、41市町村中16の市町村が策定している。その理由として、地域の一人ひとりに十分なサービスを行う事が基本となり、公民館を福祉公民館としているが、まだ具体的な計画までは至っていない。

行政区を設定し、そこに福祉エリアを設け、福祉委員会を作る予定であるため、行政区の区割りが必要である。また、防災エリア、自治基本条例とも関わっている。

Q14、議会を傍聴したいが、なかなか行けないので簡単に傍聴できる方法は

A) FMよみたんを通してインターネットで視聴できるようになっています。

Q15、南部地域に図書館等、公共施設を造って欲しい。
A) 提言として受け止めます。

Q16、長田川は二級河川であるので村で管理して欲しい。
A) 提言として受け止めます。

【平成22年11月24日・親志公民館】喜名小学校区

Q1、南部地域にリゾートホテルの計画があると聞いているが。

A) 渡具知区長をはじめ、7人の区長からの道路整備に対する陳情と、渡具知区長から温泉付きリゾートホテルに関する陳情書が建設経済常任委員会に提出され、閉会中の継続審査中である。

Q2、建設経済常任委員会に提出された陳情書の中身について。

A) 嘉手納の某企業より、波平にある土地改良区の土地を有効活用するため、道路を通して欲しいとの陳情があつたが、土地改良区であるため道路の整備は難しいと判断し、議会では不採択としました。

Q3、喜名にある小糸製作所跡地利用と、観音堂の管理についての進捗状況は。

A) 村として小糸製作所跡地は売却方針であり、観音堂は喜名区が管理しているが、祠の修繕は文化財認定を得た後に着手される予定である。

Q4、親志波平線、楚辺座喜味線は着手されているが、民有地の部分の進捗状況と既存の道とのつながりは。

A) 親志波平線を含め、陸上競技場周辺は、12月議会において約200mの発注がされており、3月末には完成の予定である。民有地部分については把握していない。

・楚辺座喜味線は、読谷中学校の西側に100m発注されていて、3月末には完成する見込みである。中央残波線をはじめとする読谷中学校付近は、全体計画の中では通学及び通勤路であり、混雑融和のため、早急に整備を進めて

いるところだ。

・予算の関係上、優先順位等もありますが、村民の要望を聞きながら行政と協議していきます。

・陸上競技場周辺の道路も村道座喜味12号線につながる予定ではありますが、南部国道事務所及び、地主との兼ね合いもあるため、いつ出来るかは返答できません。

Q5、親志波平線整備工事で、元の道が使用出来ず困っている。これから製糖期に入るため、早急に対応を求め。

A) 早急に担当課に伝え、対応を求めています。

Q6、横田地域に介護施設の建設工事が行われているが、住民に十分な説明が無く、工事が始まっている。また、どのような施設なのかも解らない。

A) 介護広域連合が読谷村を指名し、定員29名の特別養護老人ホーム（仮称「瑞穂の郷よみたん」）を建設しています。村民に喜ばれる施設であるため、十分な説明会を開くよう村に求めます。

Q7、飛行場跡地の北地区に、キャンプングカー等で生活する方がいるが、ちゃんと調査をして欲しい。近くの農家に被害が出ている。

A) 村に報告し、実態調査をさせます。

Q8、火葬場建設に関し、図面等は出来ているか。

A) 村は、多幸山の砂良原の苗畑に作る予定で、図面は未だ出来ていない。

3月議会は3月6日からの予定です。



親志公民館